

4 各種機能を設定する

GLO4P 設定ツールについて	62
GLO4P 設定ツールを起動する.....	62
GLO4P 設定ツールトップページ.....	63
GLO4P 設定ツール設定画面	64
かんたん設定	65
インターネットや無線LANの情報を確認する (基本情報)	69
各種機能の詳細設定をする (設定)	70
WAN 設定.....	71
無線 LAN 設定.....	80
セキュリティに関する機能の設定をする (ファイアウォール設定)....	86
システム設定	97
microSD 設定.....	101
サポート情報を確認する (ヘルプ)	102
ローミング設定をする	102
受信したメッセージを確認する	103
microSD カードの情報を確認する	105
モバイル機器用設定ツールについて	106
モバイル機器用設定ツールを起動する.....	106
基本情報を確認する.....	109
かんたん設定を使用する	110
マルチ SSID 設定をする.....	116
ローミング設定をする.....	119
オンラインアップデートを使用する.....	120
microSD 設定をする	122
受信したメッセージを確認する	123
microSD カードの情報を確認する	124

4 各種機能を設定する

GLO4P 設定ツールについて

本製品に無線 LAN または USB ケーブルで接続したパソコンやモバイル機器から、Web ブラウザを使用して本製品の各種機能を設定することができます。

無線 LAN 接続で GLO4P 設定ツールを使用する場合、「SSID1」に接続してください。「SSID2」に接続している場合は、GLO4P 設定ツールを使用することはできません。

● モバイル機器からアクセスする

iPod touch などのモバイル機器から設定ツールにアクセスする場合は、106 ページ「モバイル機器用設定ツールについて」も参照してください。

注意

- 無線 LAN で接続したパソコンやモバイル機器から、GLO4P 設定ツールで「無線 LAN 設定」など無線 LAN 接続に関する設定を変更すると、無線 LAN の接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンやモバイル機器の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- GLO4P 設定ツールを複数の機器で同時に表示／設定することはできません。

説明

GLO4P 設定ツールは、以下の Web ブラウザに対応しています。

Windows : Microsoft Internet Explorer 6, 7, 8, 9, 10

Mac OS : Safari 3, 4, 5, 6

GLO4P 設定ツールを起動する

画面表示や手順は、GLO4P 設定ツールに対応する Web ブラウザを搭載したパソコン (Windows 7) を例にして説明しています。

- パソコンを起動し、本製品と無線 LAN または USB ケーブルで接続します。
- Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://pocketwifi.home」と入力します。GLO4P 設定ツールのトップページが表示されます。
 - EMOBILE GLO4P 設定ツールをインストールしているパソコンと接続している場合は、EMOBILE GLO4P Setting Tool ショートカットアイコン (Windows パソコンはデスクトップ上、Mac は Dock に表示) をダブルクリックしても設定ツールを起動できます。
- パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。
 - お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、「admin」に設定されています。
 - ユーザ名は「admin」で固定されています。ユーザ名の変更はできません。
 - 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

ログインに成功すると、GLO4P 設定ツール **かんたん設定画面**が表示されます。詳しくは、65 ページ「かんたん設定」を参照してください。

GLO4P 設定ツールトップページ

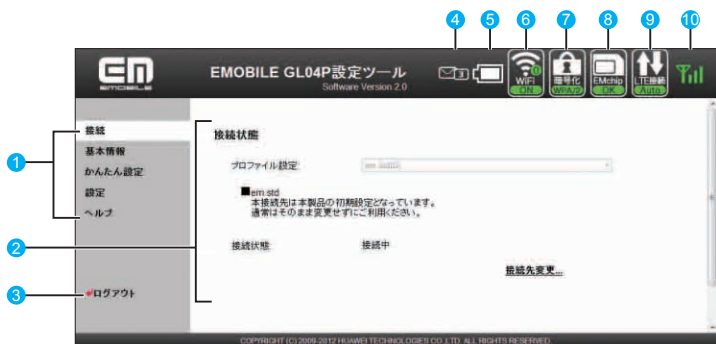
- 1 メッセージボックス 受信箱へ**
受信したメッセージを表示します（103 ページ）。
- 2 プロファイル変更**
プロファイルを変更します。
- 3 通信情報クリア**
送受信データ量／接続時間のカウンタを 0 に戻します。
- 4 モバイル用画面へ**
iPod touch など、モバイル機器用の設定ツール画面を表示します（106 ページ）。
- 5 取扱説明書 PDF ファイルをダウンロード**
本書をダウンロードします。
- 6 イー・モバイル公式サイト／お客さまサポート**
イー・モバイルの公式サイト、およびお客さまサポートを表示します。ページを表示するにはインターネットへの接続が必要です。
- 7 言語**
設定ツールの表示言語を切り替えます。
- 8 パスワード**
パスワードを入力して、設定ツールにログインします。
- 9 ローミング設定**
海外でのデータ通信を設定します（102 ページ）。
- 10 microSD フォルダを表示します**
microSD カードの情報を表示します（105 ページ）。

注意

- 通信の安全性を高めるために、お買い上げ時のパスワードは変更することをお勧めします。変更方法については、97 ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。
- 約 5 分間、GLO4P 設定ツールが操作されない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

4 各種機能を設定する

GLO4P 設定ツール設定画面



1 メニューリスト

メニュー項目をクリックして、設定ページを切り替えます。

2 設定ページ

各機能の設定／情報画面、またはアイコンメニューが表示されます。

3 ログアウト

クリックして GLO4P 設定ツールからログアウトします。

4 メッセージ受信アイコン

メッセージ受信時に、未読のメッセージ数が表示されます。

- ・ : 未読のメッセージが 10 件以上ある場合
- ・ : メッセージがいっぱいで、これ以上受信できない場合

5 電池残量表示

- ・ : 電池残量「多い」⇒「少ない」

6 無線 LAN 状態表示、接続台数表示

- ・ : 無線 LAN が無効
- ・ : 無線 LAN が有効 (丸内の数字は接続台数)

7 暗号化方式表示





現在の無線 LAN 暗号化方式を表示します。

- ・ : WPA/WPA2
- ・ : WPA2
- ・ : WPA
- ・ : WEP
- ・ : 暗号化なし

8 EM chip アイコン


- ・ : 有効な EM chip が取り付けられています。
- ・ : EM chip が取り付けられていません。または EM chip が無効になっています。

9 WANアイコン／Wi-Fi (WAN) アイコン

- ・ : LTE ネットワークでインターネット接続中 (インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示)
- ・ : 3G ネットワークでインターネット接続中 (インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示)
- ・ : Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「弱」
- ・ : Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「強」

10 SIGアイコン

3G / LTE ネットワークの現在の受信レベルを表示します。

- ・  ⇔  : 受信レベル「強」⇔「弱」
- ・  外 : 圏外

かんたん設定

設定ツールにログインすると、かんたん設定が表示されます。かんたん設定は、本製品をご利用する上で必要な主要な設定項目を 1～5 のステップで簡単に行うことができます。かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。

注意

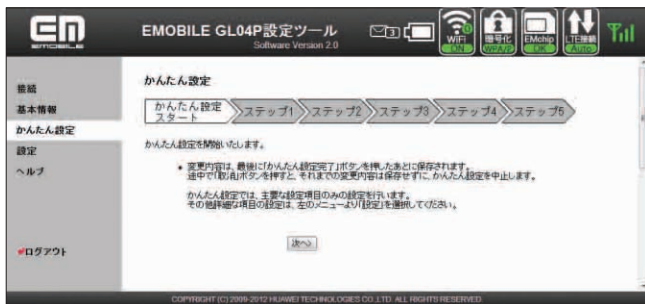
- ・ 変更内容は、最後に「かんたん設定完了」ボタンを押した後に保存されます。途中で「取消」ボタンを押すと、それまでの変更内容は保存せずに、かんたん設定を中止します。
- ・ かんたん設定では、主要な設定項目のみの設定を行います。その他詳細な項目の設定は、設定ツールのメニューリストから「設定」を選択してください。

65

説明

設定ツールにログインすると、必ずかんたん設定画面が表示されます。既に本製品の設定が済んでいる場合は、設定ツールのメニューリストから表示したい項目を選択してください。

1. かんたん設定スタート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



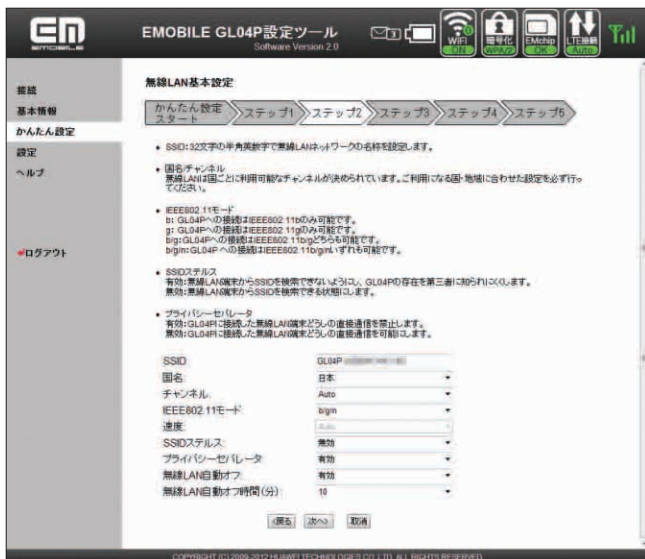
4 各種機能を設定する

2. ステップ1が表示されます。ステップ1では接続モード（プロファイル）を設定します。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。
詳しくは、76 ページ「接続モード設定」を参照してください。



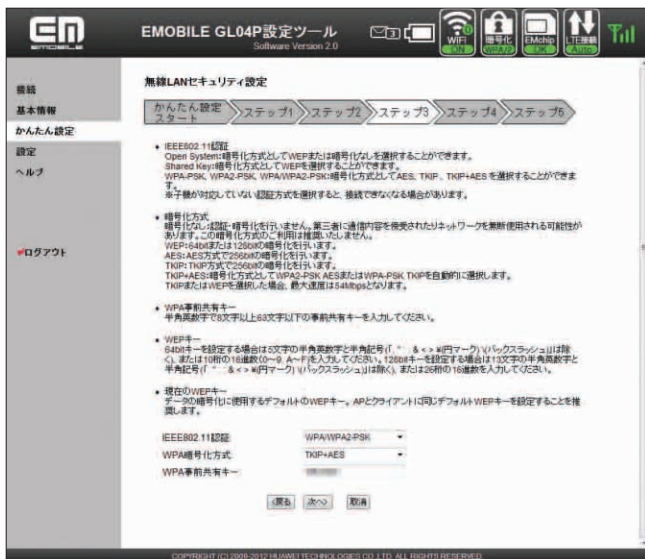
3. ステップ2が表示されます。ステップ2では無線LANの設定をします。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。
詳しくは、81 ページ「無線LAN設定」を参照してください。

66



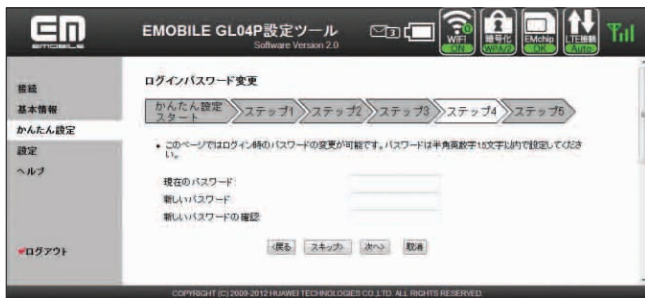
4. ステップ3が表示されます。ステップ3では無線LANのセキュリティ設定をします。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

詳しくは、81ページ「無線LAN設定」を参照してください。



5. ステップ4が表示されます。ステップ4では設定ツールにログインする際のログインパスワードの設定をします。現在の設定を変更しない場合は「スキップ」を、設定を変更する場合は項目に入力してから「次へ」をクリックします。

詳しくは、97ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。

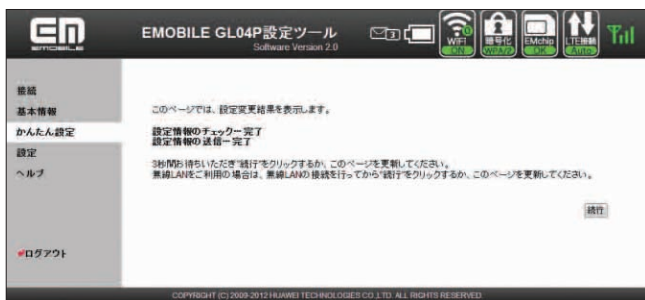


4 各種機能を設定する

6. ステップ5が表示されます。ステップ5ではここまで行った設定内容を表示します。設定内容を確認したら、「かんたん設定完了」をクリックして設定内容を保存します。
- 無線 LAN の再接続確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。



7. 「続行」をクリックして、かんたん設定を終了します。



注意

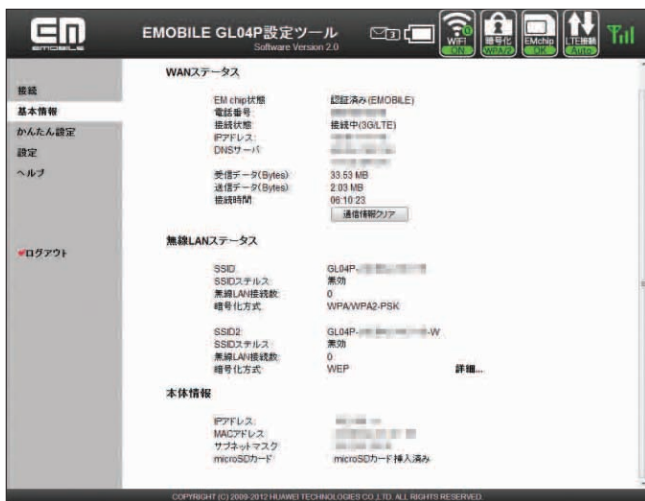
- 設定を変更後に引き続き設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されることがあります。
- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更して、本製品の無線 LAN 機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。

インターネットや無線LANの情報を確認する(基本情報)

1. メニューリストから「基本情報」をクリックします。

インターネット(WANステータス)と無線LAN(無線LANステータス)、本体(本体情報)についての情報が表示されます。

画面右側の「詳細...」をクリックすると、無線LANの詳細な情報が表示されます。



注意

- 表示される受信データ/送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
- 無線LAN接続の受信データ/送信データ量および接続時間はカウントされません。

説明

「通信情報クリア」ボタンをクリックすると、受信データ、送信データ、接続時間がリセットされます。

4 各種機能を設定する

各種機能の詳細設定をする（設定）

1. メニューリストから「設定」をクリックします。
アイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

● WAN 設定

インターネット接続や Wi-Fi (WAN) 接続に関する詳細機能を設定します (71 ページ)。

● 無線 LAN 設定

無線 LAN 機能に関する詳細機能を設定します (80 ページ)。

● ファイアウォール設定

ファイアウォールに関する詳細設定を設定します (86 ページ)。

● システム設定

システムに関する詳細機能を設定します (97 ページ)。

● microSD 設定

microSD カードの共有設定を行います (101 ページ)。

WAN 設定

インターネットに接続するための接続先や通信方式などを設定します。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (WAN 設定) をクリックします。
「WAN 設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ネットワーク選択設定

Wi-Fi (WAN) 接続を優先的に利用するかどうか設定します。

- ・マルチ SSID 機能と Wi-Fi (WAN) 機能は、同時に利用できません。「3G/LTE のみ」のときは Wi-Fi (WAN) のネットワークを検出しません。また、「Wi-Fi (WAN) 優先」のときはマルチ SSID を設定できません。



4 各種機能を設定する

● Wi-Fi (WAN) を優先する

1. 「Wi-Fi (WAN) 優先」を選択します。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。
 - ・引き続き、Wi-Fi(WAN)のプロファイル(接続先)を登録します。詳しくは、79 ページ「Wi-Fi (WAN) 設定」を参照してください。

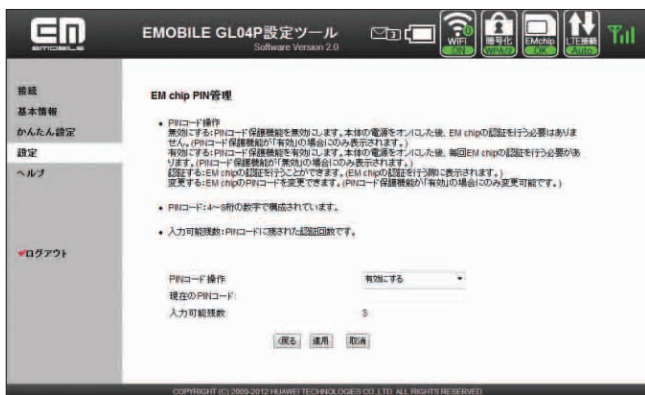
● 3G / LTE 接続に設定する

マルチ SSID 機能を有効にした場合など、Wi-Fi (WAN) に接続しないように設定します。

1. 「3G / LTE のみ」を選択します。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

EM chip PIN 管理

PIN (Personal Identification Number) とは、EM chip が不正に利用されることを防ぐために使われるパスワードです。PIN 認証の有効/無効の設定、PIN コードの認証や変更などを行うことができます。



● 有効/無効にする場合

1. 「現在の PIN コード」に正しい PIN コードを入力します。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

● 変更する場合 (有効のとき)

1. 「PIN コード操作」から「変更する」を選択します。
2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PIN コード操作	適用する操作を選択します。	有効にする、無効にする、 認証する、変更する	(なし)
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを 入力します。	4～8 桁の数字	(なし) *
新しい PIN コード	PIN コードを変更する場合に、新 しい PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	(なし)
新しい PIN コードの 確認	確認のため、新しい PIN コードを 再入力します。	4～8 桁の数字	(なし)
PUK コード	PIN ロック時に表示されます。 PIN ロック解除コード (PUK コード) を入力します。	8 桁の数字	(なし)

※：お買い上げ時の EM chip の PIN コードは、「9999」に設定されています。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明

PIN コード入力を 3 回連続で間違えると PIN ロック状態になり、PIN ロックを解除するには、PIN ロック解除コードの入力が必要です。PIN ロック解除コード (PUK コード) については、お問い合わせ先(143 ページ)にご確認ください。また、PIN ロック解除コード(PUK コード)を 10 回連続で間違えると、完全ロック状態になります。完全ロック状態を解除するには、所定の手続きが必要になります。お問い合わせ先(143 ページ)にご連絡ください。手続きに伴い手数料が発生することがあります。

■ 認証を行う

PIN コード操作を有効に設定してから本製品の電源を入れると、本体ディスプレイに「PIN Lock」(25 ページ)と表示されます。PIN コード認証を行うまでインターネットに接続されませんので、以下の手順で PIN コード認証を行います。

● GLO4P 設定ツールで認証を行う

1. GLO4P 設定ツールのトップページでログインします。
2. メニューリストから「接続」をクリックします。
PIN 認証画面が表示されます。
 - ・メニューリストから「設定」→「WAN 設定」→「EM chip PIN 管理」をクリックした場合は「PIN コード操作」が「認証する」に設定されています。
3. 「PIN コード」に正しい PIN コードを入力します。
4. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。
インターネットに接続されます。

● モバイル機器用 GLO4P 設定ツールで認証を行う

1. モバイル機器でモバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページを表示し、ログインします。
PIN 認証画面が表示されます。

4 各種機能を設定する

2. 「PIN コード」に正しいPIN コードを入力し、「適用」ボタンをクリックします。
モバイル機器用 GLO4P 設定ツールにログインし、インターネットに接続されます。

説明 PIN コード入力に対応する Web ブラウザを搭載した機器でのみ可能です。無線 LAN 端末として PIN コードを入力できない端末のみを使用する場合には、PIN コード操作を無効に設定してください。



周波数選択設定

ネットワークを照会するときを選択される周波数を指定します。



1. 項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
モード	選択される周波数を指定します。	自動、WCDMAのみ、LTEのみ	自動

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - ・インターネット接続切断確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意

- ・本製品を海外で使用する場合は、周波数の設定に関わらず自動的に WCDMA が使用されます。また海外から日本に戻った際は、それ以前の設定に関わらず「自動」に変更されます。
- ・「LTEのみ」に設定されている場合、海外で自動的に WCDMA に切り替わらないことがあります。その場合は、「自動」または「WCDMAのみ」に設定しなおしてください。

ネットワーク検索設定

接続できるネットワークを検索する方法を設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
モード	検索モードを選択します。	自動、手動	自動
ネットワーク	モードで「手動」を選択し、「適用」ボタンをクリック後に表示されます。 利用可能なネットワークを選択し、「登録」を選択します。	(リスト項目)	(なし)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- インターネット接続切断確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意

- 通常ご利用いただく場合は「自動」を選択してください。
- 海外の対象の国・地域において、対象事業者のネットワークを利用したデータ通信では「海外データ 1 日定額」が適用されます。詳しくは、イー・モバイルのホームページをご覧ください。対象事業者のネットワークを確実に利用するには、手動で設定してください。

4 各種機能を設定する

接続モード設定

インターネットに接続するために、デフォルト（規定値）に設定するプロファイルや自動切断される時間を設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	設定するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 16 件※ ¹	em.std
切断時間 (分) ※ ²	一定時間データの送受信がなかった場合に、インターネット接続が自動的に切断されるまでの時間を設定します。	5、10、15、30、60	10
MTU (Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1400～1500	1500

※¹：お買い上げ時、本製品には以下の 2 つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除／編集できません。

em.std	本接続先は本製品の初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバル IP アドレスのご利用が可能な接続先です。

※²：LTE ネットワークでは、自動切断されません。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

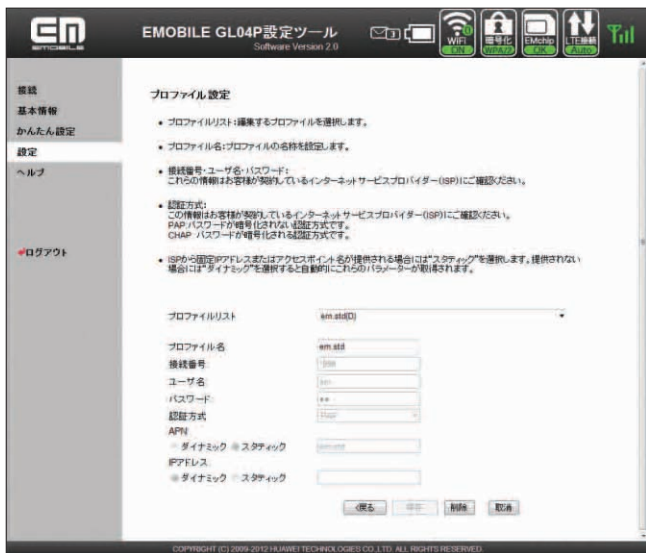
- インターネット接続切断確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意 インターネット接続中にプロファイルリストを変更すると、接続が切断されます。

プロファイル設定

プロファイル（接続設定）を新規作成、編集、削除します。あらかじめ設定されている2つのプロファイル（em.std、em.gbl）以外に、最大14件までプロファイルを追加することができます。



The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The main window is titled 'プロファイル 設定' (Profile Setting). On the left, there is a navigation menu with options: '接続' (Connection), '基本情報' (Basic Information), 'かんたん設定' (Easy Setting), '設定' (Setting), 'ヘルプ' (Help), and 'ログアウト' (Logout). The '設定' option is selected.

The main content area is titled 'プロファイル 設定' and contains the following instructions:

- プロファイルリストに編集するプロファイルを選択します。
- プロファイル名(プロファイルの名前を設定します。
- 接続番号・ユーザ名・パスワード:
これらの情報はお客様が契約しているインターネットサービスプロバイダー(ISP)にご確認ください。
- 認証方式:
この情報はお客様が契約しているインターネットサービスプロバイダー(ISP)にご確認ください。
PAP: パスワードが暗号化されない認証方式です。
CHAP: パスワードが暗号化される認証方式です。
- ISPから固定IPアドレスまたはアクセスポイント名が提供される場合には「スタティック」を選択します。提供されない場合には「ダイナミック」を選択すると自動的にこれらのパラメーターが取得されます。

Below the instructions, there is a 'プロファイルリスト' (Profile List) dropdown menu showing 'em.std(0)'. The form fields are as follows:

- プロファイル名: em.std
- 接続番号: 0000
- ユーザ名: user
- パスワード: **
- 認証方式: CHAP
- API: 00000000
- IPアドレス: (empty)

At the bottom of the form, there are radio buttons for authentication methods: 'ダイナミック' (selected) and 'スタティック'. At the very bottom of the window, there are buttons for '<戻る' (Back), '保存' (Save), '削除' (Delete), and '取消' (Cancel). The footer of the window reads: 'COPYRIGHT (C) 2009-2012 HARBET TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

4 各種機能を設定する

● プロファイルを新規登録する

1. 「プロファイル名」に任意の接続設定名を入力します。
2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	編集／削除するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを除き最大 14 件 ^{*1}	em.std
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
接続番号	インターネット接続先の番号です。	—	*99# ^{*2}
ユーザ名	ユーザ名を設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em
パスワード	パスワードを設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em ^{*3}
認証方式	認証方式を設定します。	PAP、CHAP	PAP
APN	APN を指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	スタティック
	APN を設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
IP アドレス	IP アドレスを指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	本製品のグローバル IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)

※ 1 : お買い上げ時、本製品には以下の 2 つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除／編集できません。

em.std	本接続先は本製品の初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバル IP アドレスのご利用が可能な接続先です。

※ 2 : 変更できません。

※ 3 : 画面には「●●」で表示されます。

3. 設定が完了したら「保存」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

● 登録されているプロファイルを編集する

1. 「プロファイルリスト」から、変更するプロファイル名を選択します。
2. 必要な項目を編集します。
3. 編集が完了したら「保存」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

● 登録されているプロファイルを削除する場合

1. 「プロファイルリスト」から、削除するプロファイル名を選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明 プロファイルを編集する場合、プロファイル名のみを変更して保存すると、新しいプロファイル名のプロファイルとして追加されます。



Wi-Fi (WAN) 設定

Wi-Fi(WAN)接続の設定を行います。自宅や会社などの無線LANルーターや公衆無線LANサービスのアクセスポイントを最大 16 件まで登録できます。

- 本機能を利用するためには、「ネットワーク選択設定」で「Wi-Fi (WAN) 優先」に設定されている必要があります。



● スキャン結果から接続先を設定する

Wi-Fi (WAN) 接続するアクセスポイントを検索結果から選択します。

1. 「WAN Network」で接続するアクセスポイントの「接続」をクリックします。

- Wi-Fi (WAN) 設定の初回起動時などアクセスポイントを自動スキャンしない場合には、「スキャン」をクリックします。

2. パスワードを入力して「接続」をクリックします。

● プロファイルを新規登録する

Wi-Fi (WAN) 接続するためのプロファイル（接続設定）を新規追加します。最大 16 件までプロファイルを追加することができます。

1. プロファイルリストの「新規追加」をクリックします。


2. 有効／無効、プロファイル名、暗号化方式、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

3. プロファイルリストに表示されたら「適用」をクリックし、「続行」をクリックします。


- プロファイルが登録されると、スキャンが実行され、「WAN Network」の一覧に表示されます。

4 各種機能を設定する

● プロファイルを編集する

1. プロファイルリストで  (編集) アイコンをクリックします。
2. 変更したら、「Ok」をクリックします。
3. プロファイルリストに表示されたら「適用」をクリックし、「続行」をクリックします。

● プロファイルを削除する

1. プロファイルリストで  (削除) アイコンをクリックします。
2. プロファイルリストから削除されたら「適用」をクリックし、「続行」をクリックします。

● プロファイルを切り替える

1. 「WAN Network」の一覧で、「接続」をクリックする
 - ・ プロファイルへの接続が開始されます。接続済みになったプロファイルは、プロファイルリストの先頭に表示されます。

注意

- ・ これらの設定を変更すると、無線 LAN 接続が切断されることがあります。
- ・ プロファイルリストには、自動検索で登録されたプロファイルが上に、手動で登録したプロファイルが下に表示されます。また、接続したプロファイルの優先度が自動的に上がります。
- ・ プロファイルリストの先頭のプロファイルから優先的に接続が行われ、下にいくほど優先度は低くなります。優先順位は、プロファイルリストの上下矢印をクリックして変更できます。

無線 LAN 設定

無線 LAN 機能の各種設定をします。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (無線 LAN 設定) をクリックします。「無線 LAN 設定」のアイコンメニューが表示されます。



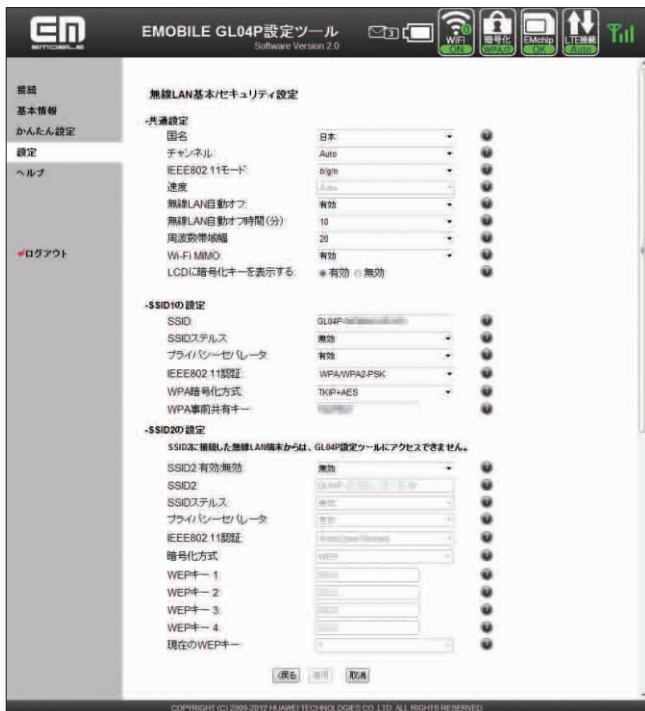
2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

無線 LAN 設定

無線 LAN の機能を設定します。

注意

- マルチ SSID 機能を有効にするには、「ネットワーク選択設定」で「3G/LTE のみ」に設定されている必要があります。
- マルチ SSID 機能が有効の場合、無線 LAN 端末の最大接続数は 9 台（SSID1 に 5 台、SSID2 に 4 台）となります。SSID1 に 5 台以上の無線 LAN 端末を接続済みの場合でも、再接続できない端末が発生します。SSID2 に接続しなすなどの操作を行ってください。



1. 各項目を設定します。

■共通設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
国名	国名を選択します。	(リスト項目)	日本
チャンネル	使用チャンネルを選択します。	Auto、1、2、…、13	Auto
IEEE802.11モード	無線 LAN 機能の動作モードを選択します。	b、g、b/g、b/g/n	b/g/n

4 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
速度 ^{*1}	無線 LAN の通信速度の設定が表示されます。	(Auto)	(Auto)
無線 LAN 自動オフ ^{*2}	無線 LAN 端末が接続されていない状態で、無線 LAN 接続を自動的にオフするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
無線 LAN 自動オフ時間(分)	無線 LAN 自動オフが「有効」の場合の時間を設定します。	5、10、20	10
周波数帯域幅 ^{*3}	周波数帯域幅を設定します。	20、40	20
Wi-Fi MIMO ^{*3}	無線 LAN の送受信を高速化するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
LCD に暗号化キーを表示する	本体ディスプレイに暗号化キーを表示させるかどうかを設定します。	有効、無効	有効

■ SSID の設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	SSID1 のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「_」、「-」、「 」、「(半角スペース)」	※ 4
SSID ステルス ^{*5}	SSID1 のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効
プライバシーセパレータ	本製品に接続している無線 LAN 端末 (パソコンなど) の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN 接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	有効
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。	Auto (Open/Shared)、Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
WPA 暗号化方式 ^{*6}	暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、TKIP+AES	TKIP + AES
WPA 事前共有キー ^{*6}	使用する WPA 事前共有キーを指定します。	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (".": "<>&\¥ は除く)、または 64 桁の 16 進数 (0~9、A~F)	※ 4
暗号化方式 ^{*7}	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEP キー 1~4 ^{*7}	使用する WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号 (".": "<>&\¥ は除く) または 10 桁の 16 進数 (0~9、A~F) 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号 (".": "<>&\¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0~9、A~F)	WEP キー ^{*4}
現在の WEP キー ^{*8}	デフォルト (既定値) の WEP キーを設定します。	1~4	1

■ SSID2 の設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2 有効／無効※ ⁹	SSID2 を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	無効
SSID2	SSID2 のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「_」、「-」、「 」、「(半角スペース)」	※ 4、10
SSID ステルス	SSID2 のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効
プライバシーセパレータ	本製品に接続している無線 LAN 端末 (パソコンなど) の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN 接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	有効
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	WEP ※ ¹¹	WEP
WEP キー 1～4	使用する WEP キーを設定します。	64bit キー：5 文字の半角英数字と半角記号 (",";:<> & \ ¥ は除く) または 10 桁の 16 進数 (0～9、A～F) 128bit キー：13 文字の半角英数字と半角記号 (",";:<> & \ ¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0～9、A～F)	WEP キー※ ⁴
現在の WEP キー※ ⁸	デフォルト (既定値) の WEP キーを設定します。	1～4	1

※ 1：変更できません。

※ 2：「有効」に設定しても、充電中は無線 LAN 自動オフは動作しません。

※ 3：周波数帯域幅および Wi-Fi MIMO の設定により最大通信速度が変化します (34 ページ)。

※ 4：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

※ 5：「有効」に設定すると、WPS 機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

※ 6：「IEEE802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。

※ 7：「IEEE802.11 認証」で「Auto (Open/Shared)」「Open System」「Shared Key」のいずれかを選択しているときに表示されます。

※ 8：Mac などキーインデックス指定ができない無線 LAN 端末では、WEP キー 2～4 は使用できません。

※ 9：マルチ SSID 機能と Wi-Fi (WAN) 機能は、同時に利用できません。「ネットワーク選択設定」で「Wi-Fi (WAN) 優先」のときはマルチ SSID を設定できません。

※ 10：お買い上げ時の「SSID2」は、無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の末尾に「-W」を追加したものです。

※ 11：SSID2 の暗号化方式は WEP のみになります。

4 各種機能を設定する

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - ・ 無線 LAN の再接続確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意

- ・ これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更して、本製品の無線 LAN 機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。
- ・ 無線 LAN に許容される通信速度やチャンネルなどの設定値は、国によって異なります。本製品を日本国外でお使いになる場合には、正しい国名を設定して、各国の通信事情に十分注意してご利用ください。
- ・ 通信の安全性を高めるために、暗号化方式は WEP よりも WPA/WPA2 に設定することをお勧めします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。
- ・ WPA/WPA2 のキー更新頻度は 6000 秒に固定されており、変更することはできません。



WPS 設定

WPS 用の PIN コードが指定された WPS 対応機器を接続する場合に、指定されている PIN コードを設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS PIN	WPS 対応機器に指定されている PIN コードを設定します。	8 桁の半角数字	(なし)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明

WPS を実行するには無線 LAN がオンになっている必要があります。無線 LAN がオンになっていることをご確認の上、WPS 設定を行ってください。WPS PIN を設定すると、自動的に本製品の WPS 機能がオンになります。約 2 分以内に、WPS 対応機器で WPS 機能の接続操作を行ってください。



MAC アドレスフィルタリング設定

無線 LAN 端末の MAC アドレスを登録して無線 LAN 接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレスフィルタリングモード	MAC アドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否*	無効
MAC アドレス	接続を許可、または禁止する無線 LAN 端末の MAC アドレスを 10 個まで設定できます。	00 ~ FF の 6 組の番号	(なし)

※：「許可」と「拒否」を同時に設定することはできません。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。


注意

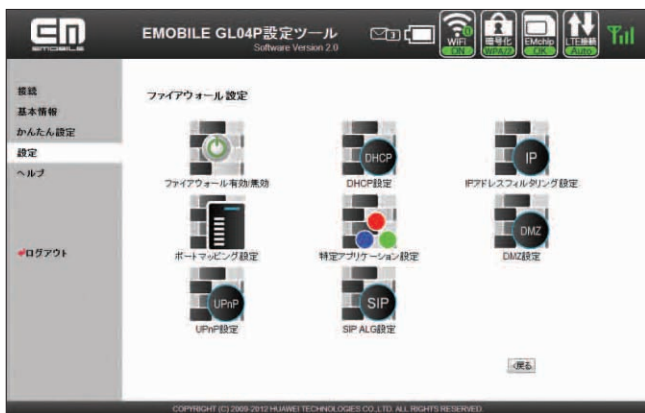
- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の MAC アドレスを確認し、正しく設定しなおしてください。
- これらの設定を有効にしている場合、許可されていない無線 LAN 端末は、WPS 機能を利用して接続できなくなります。
- マルチ SSID が有効のときは、本設定は SSID2 にも反映されます。

4 各種機能を設定する

セキュリティに関する機能の設定をする（ファイアウォール設定）

ファイアウォール機能に関する詳細設定をします。

1. 「設定」のアイコンメニューから （ファイアウォール設定）をクリックします。「ファイアウォール設定」アイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ファイアウォール有効／無効

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。

※不正な侵入を完全に防ぐことを保証するものではありません。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
IP アドレスフィルタを有効にする	IP アドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
WAN ポート PING 応答を無効にする	WAN 側からの Ping に応答するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オフ)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明

ファイアウォールを有効に設定すると、外部からの LAN 側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。



DHCP 設定

LAN 内の端末に IP アドレスを割り当てる機能を設定します。

EMOBILE GL04P 設定ツール
Software Version 2.0

接続

基本情報

かんたん設定

設定

ヘルプ

▶ ログアウト

DHCP 設定

◆ 工場出荷設定では DHCP サーバ機能は有効になっています。情報アドレスと終了アドレスの範囲から IP アドレスを割り当てます。
DHCP サーバ機能を無効に設定すると GL04P に接続できなくなる場合があります。通常は有効のままお使いください。

IP アドレス:

サブネットマスク:

DHCP サーバ: 有効 無効

開始 IP アドレス:

終了 IP アドレス:

DHCP リリースタイム(秒):

DNS 設定

プライマリ DNS:

セカンダリ DNS:

※ 有効 無効

※ ダイナミック スタティック

COPYRIGHT (C) 2009-2012 HOMER TECH#OLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

4 各種機能を設定する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	192.168.1.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255 の 4 組の番号	255.255.255.0
DHCP サーバ	DHCP 機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始 IP アドレス	無線 LAN 端末に割り当てる最小の IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	192.168.1.100
終了 IP アドレス	無線 LAN 端末に割り当てる最大の IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	192.168.1.200
DHCP リースタイム (秒)	IP アドレスのリースタイムを設定します。	60～86400	86400
DNS 設定	DNS サーバアドレスを DHCP 機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	(なし)
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	(なし)

2. 設定が完了したら、「適用」ボタンをクリックします。

- 本製品の再起動確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

注意

- 「IP アドレス」と「開始 IP アドレス」、「終了 IP アドレス」には、同じサブネットワーク内の IP アドレスを指定してください。
- 「終了 IP アドレス」には、「開始 IP アドレス」より大きい IP アドレスを指定してください。
- 上記の設定を変更すると、GLO4P 設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、パソコンの再起動後、正しい IP アドレスを指定して GLO4P 設定ツールを起動しなおしてください。
- 「IP アドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「IP アドレスフィルタリング設定」「ポートマッピング設定」「DMZ 設定」の設定変更が必要になる場合があります。

IP アドレスフィルタリング設定

ファイアウォールの基本的な機能です。設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。最大16件まで登録できます。

注意 この機能を利用するには、「ファイアウォール有効/無効」の「IPアドレスフィルタを有効にする」をオンに設定しておく必要があります(86ページ)。

説明 サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。

The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The main section is titled 'IPアドレスフィルタリング設定' (IP Address Filtering Setting). It contains several bullet points explaining the settings and a form for adding new rules. Below the form is a table titled '設定一覧' (Setting List) showing the current configuration of 16 rules.

設定一覧

LAN側IPアドレス	LAN側ポート番号	WAN側IPアドレス	WAN側ポート番号	プロトコル	ステータス	操作	
192.168.1.*	1-65535	***	135-139	TCP/UDP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	445	TCP/UDP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	2049	TCP/UDP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	12343	TCP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	12345	TCP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	27374	TCP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	31765	TCP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	31789	TCP	有効		
192.168.1.*	1-65535	***	31761	UDP	有効		

4 各種機能を設定する

● ルールを登録する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP、UDP、TCP/ UDP	※ 1
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	※ 1
LAN 側 IP アドレス	ルールを適用する LAN 側 (送信元) 端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号 とワイルドカードとして 「*」※ 2	※ 1
LAN ポート番号	ルールを適用する LAN 側 (送信元) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」 で連結	※ 1
WAN 側 IP アドレス	ルールを適用する WAN 側 (送信先) 端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号 とワイルドカードとして 「*」※ 2	※ 1
WAN ポート番号	ルールを適用する WAN 側 (送信先) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」 で連結	※ 1
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否※ 3
方向	ルールを適用するパケットの送信方向です。	OUT	OUT※ 3

※ 1 : お買い上げ時、本製品には 9 つのフィルタ条件が設定されています。139 ページの ※ 5 を参照してください。

※ 2 : 「*」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. *.*.*
2. 10.*.*
3. 10.10.*.*
4. 10.10.10.*

※ 3 : 変更できません。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを変更する

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている (編集) アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。


- ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを削除する

1. 設定一覧から、削除したいルールの「操作」欄に表示されている  (削除) アイコンをクリックします。
 - ・ 削除確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
 - ・ 必要に応じて手順 1 を繰り返し、複数のルールを削除できます。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

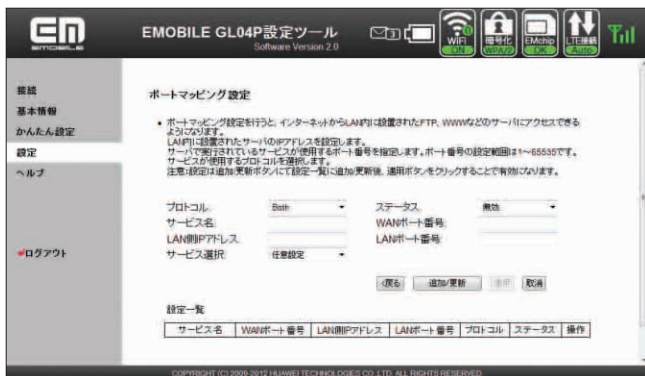
ポートマッピング設定

インターネットから LAN 内の特定の端末にアクセスできるようにします。サーバや FTP を公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを使用する場合に設定します。最大 16 件まで登録できます。

注意 この機能では LAN 側端末を IP アドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCP 設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的な IP アドレスを、手動で設定する必要があります (87 ページ)。

説明 セキュリティ対策などのためにポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。

91



The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The main window is titled 'ポートマッピング設定' (Port Mapping Settings). It contains a list of instructions in Japanese, followed by a form with the following fields:

- プロトコル: Dropdown menu with 'Both' selected.
- サービス名: Text input field.
- LAN側IPアドレス: Text input field.
- サービス選択: Dropdown menu with '任意設定' selected.
- ステータス: Dropdown menu with '無効' selected.
- WANポート番号: Text input field.
- LANポート番号: Text input field.

At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back), '追加更新' (Add/Update), and '取消' (Cancel). Below the form is a table titled '設定一覧' (Settings List) with columns for 'サービス名', 'WANポート番号', 'LAN側IPアドレス', 'LANポート番号', 'プロトコル', 'ステータス', and '操作'.

Copyright (C) 2009-2012 FURUKAI TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

4 各種機能を設定する

● ルールを登録する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
サービス名	ルールに任意の名前を付けます。	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (, * ; : < > & \ ¥ は除く)	(なし)
WAN ポート番号	ルールを適用する WAN 側 (送信元) ポート番号を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
LAN 側 IP アドレス	サーバとして公開する LAN 側端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
LAN ポート番号	サーバとして公開する LAN 側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WAN ポート番号」と同じ値を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
サービス選択 [※]	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力することができます。	(リスト項目)	(任意設定)

※：一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「任意設定」を選択し、各項目を手動で設定してください。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを変更する

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている (編集) アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。


- ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを削除する

1. 設定一覧から、削除したいルールの「操作」欄に表示されている  (削除) アイコンをクリックします。
 - ・ 削除確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
 - ・ 必要に応じて手順 1 を繰り返し、複数のルールを削除できます。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

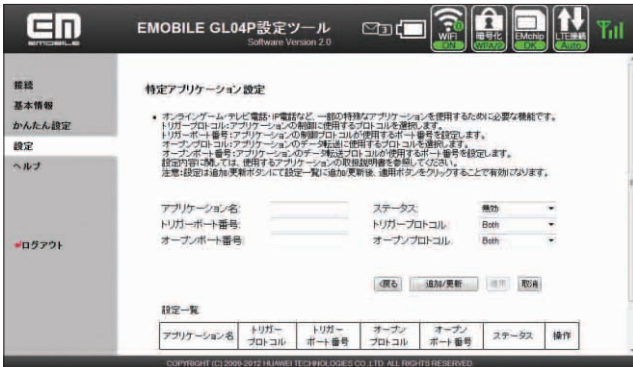


特定アプリケーション設定

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションが利用できるようにします。最大 16 件まで登録できます。

説明

アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。



The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The '特定アプリケーション設定' (Special Application Settings) section is active, displaying instructions and a table for adding applications.

特定アプリケーション設定

● オンラインゲームやテレビ電話・IP電話など、一部の特殊なアプリケーションを使用するために必要な機能です。
トリガーポート番号はアプリケーションの制御プロトコルに使用するポート番号を設定します。
トリガーポート番号はアプリケーションの制御プロトコルに使用するポート番号を設定します。
オープンポート番号はアプリケーションのデータ通信プロトコルに使用するポート番号を設定します。
オープンポート番号はアプリケーションのデータ通信プロトコルに使用するポート番号を設定します。
設定内容に間違いは、使用するアプリケーションの取扱説明書を確認してください。
注意: 設定は追加更新ボタンにて設定一覧に追加更新後、適用ボタンをクリックすることで有効になります。

アプリケーション名: ステータス: 無効

トリガーポート番号: トリガープロトコル: Both

オープンポート番号: オープンプロトコル: Both

設定一覧

アプリケーション名	トリガープロトコル	トリガーポート番号	オープンプロトコル	オープンポート番号	ステータス	操作

COPYRIGHT (C) 2009-2012 FUJIFILM ELECTRONICS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

4 各種機能を設定する

● ルールを登録する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
アプリケーション名	ルールに任意の名前を付けます。	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (, " ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
トリガーポート番号	制御データ用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
トリガープロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します。	Both、TCP、UDP	Both
オープンポート番号	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を 5 つまで設定できます。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結※ 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
オープンプロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both

※：範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は 100 以下にしてください。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを変更する

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている (編集) アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを削除する

1. 設定一覧から、削除したいルールの「操作」欄に表示されている (削除) アイコンをクリックします。

- ・ 削除確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
- ・ 必要に応じて手順 1 を繰り返し、複数のルールを削除できます。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 「続行」ボタンをクリックします。

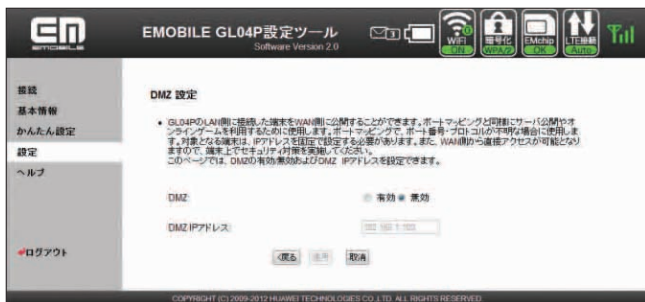


DMZ 設定

LAN 内の特定の端末を、他の端末から隔離された DMZ ホストとして設定することができます。Web サーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。

注意

- DMZ ホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようお勧めします。
- この機能では LAN 側端末を IP アドレスで指定するため、DMZ ホストになる端末には、DHCP 設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的な IP アドレスを、手動で設定する必要があります（87 ページ）。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZ	DMZ ホストを設定するかどうかを選択します。	有効、無効	無効
DMZ IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.100

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

4 各種機能を設定する

UPnP 設定

UPnP 対応の周辺機器、AV 機器、電化製品、またはメッセージソフトなどの UPnP 対応アプリケーションを使用するときに設定します。



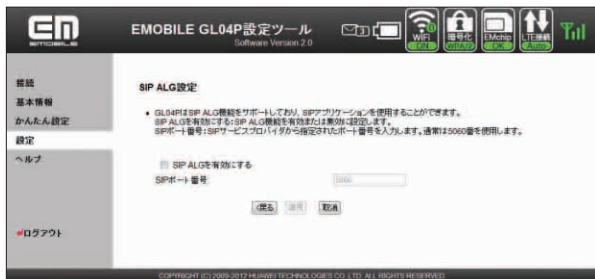
1. UPnP 機能の有効/無効を選択します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnP	UPnP 機能を使用するかどうかを選択します。	有効、無効	有効

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

SIP ALG 設定

SIP アプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。




1. 各項目を設定します

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SIP ALG を有効にする	SIP ALG 機能を有効にするかどうかを選択します。	(オン、オフ)	(オフ)
SIP ポート番号	SIP サービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。	1 ~ 65535	(5060)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

システム設定

GL04P 設定ツールのログインパスワードを変更したり、各設定をお買い上げ時の状態に戻したりするなど、GL04P 設定ツール全体の設定や操作ができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (システム設定) をクリックします。
「システム設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ログインパスワード変更

GL04P 設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。



1. 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力します。
パスワードは、最大 15 文字までの半角英数字と半角記号 (, * : ; < > & \ ¥ は除く) で設定します。
2. 「変更」ボタンをクリックし、「続行」をクリックします。
パスワードが変更され、「ログイン」画面に戻ります。

4 各種機能を設定する

バックアップ & リストア

GL04P 設定ツールの設定内容をログインしているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

注意 バックアップまたはリストアは対応する Web ブラウザを搭載した機器でのみ操作可能なため、対応ブラウザ非搭載の無線 LAN 端末では実行できません。



● バックアップする場合

1. 「バックアップ」ボタンをクリックします。
2. 確認画面が表示されたら、「保存」をクリックします。
3. 保存先フォルダとファイル名を指定し、「保存」をクリックします。
 - ・ bak ファイル形式で保存されます。

注意 Web ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

● リストアする場合

1. 「参照 ...」ボタンをクリックして読み込むファイルを指定します。
2. 「リストア」ボタンをクリックします。
 - ・ リストア確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
3. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。
 - ・ 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

工場出荷設定

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※ EM chip の登録内容、microSD カードに保存した内容は削除されません。



1. 「リストア」ボタンをクリックします。
 - リストア確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
2. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。
 - 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

本体再起動

本製品を再起動することができます。



1. 「再起動」ボタンをクリックします。
 - 再起動確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
2. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。
 - 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

4 各種機能を設定する

バージョン情報

本製品に関するバージョン情報を確認することができます。



※ 実際の表示とは異なります。



アップデート

最新のソフトウェアをダウンロードし、アップデートできます。

注意

オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。



1. 「アップデートの確認」ボタンをクリックします。
ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。
 - インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をクリックします。
2. 新しいバージョンの情報が表示されたら、「今すぐ更新」ボタンをクリックします。
 - 本製品のソフトウェアが最新の場合は、最新版である旨のメッセージが表示されます。「戻る」をクリックし、そのままお使いください。
3. 「開始」ボタンをクリックします。
4. 「使用許諾契約」の内容を確認し、同意する場合は「同意」ボタンをクリックします。
 - インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

5. アップデートが完了したら、「再起動」ボタンをクリックします。
再起動すると、アップデートされたソフトウェアが反映されます。


● 更新ソフトウェアの自動確認を設定する場合

ソフトウェアのチェックを定期的に自動で行うかどうかを設定します。
お買い上げ時は「自動アップデートを有効にする」にチェックが入っていますので、ソフトウェアのチェックを自動で行います。
最新のソフトウェアが見つかった場合、本製品のディスプレイ上に通知されます。詳しくは、25 ページ「アニメーション/テキスト表示について」を参照してください。

注意 国際ローミング中は、本設定に関わらず、ソフトウェアの自動チェックは行いません。

microSD 設定

microSD カードに保存されているファイルの共有モードを指定します。
「HTTP NAS モード」に設定すると、microSD カードに保存されているファイルを、設定ツール上で確認することができます。また、本製品に接続しているすべての機器から、microSD カードに保存されている内容を確認することができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (microSD 設定) をクリックします。



2. 項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
共有モード	共有モードを指定します。	HTTP NAS モード、 USB マストレージモード	USB マストレージモード

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」をクリックします。

4 各種機能を設定する

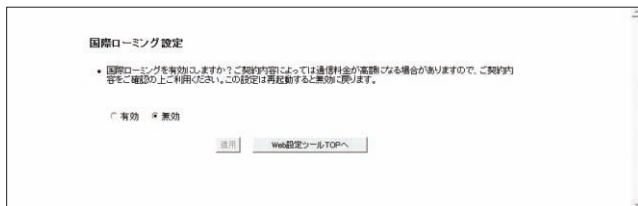
サポート情報を確認する（ヘルプ）

本製品や各種サービスに関する情報、問題の対処方法などは、こちらのヘルプページよりイー・モバイル公式サイトへアクセスしてください。



102 ローミング設定をする

海外で本製品を使ったデータ通信を利用する場合は、ローミング設定を有効に設定します。




1. GL04P 設定ツールのトップページで「ローミング設定ページへ」をクリックします。
2. 「有効」をクリックし、「適用」ボタンをクリックします。
 - 国際ローミング有効のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。国際ローミング設定画面に戻ります。
 - ローミング設定を無効にした場合も、同様の動作となります。なお、無効にした場合はデータ通信は利用できません。

注意

- ・ 国際ローミング設定を有効に設定しても、電源を切ると無効に戻ります。海外で利用する場合は、電源を入れるたびに国際ローミング設定を有効に設定してください。
- ・ 海外でデータ通信をご利用される場合、大容量データの送受信により、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 対象の国・地域において、対象事業者のネットワークを利用したデータ通信では「海外データ 1 日定額」が適用されます。詳しくは、イー・モバイルのホームページをご覧ください。対象事業者のネットワークを確実に利用するには、「ネットワーク検索設定」(75 ページ)を参照のうえ、手動で設定してください。

受信したメッセージを確認する

イー・モバイルからのお知らせなどのメッセージを受信すると、本製品のディスプレイに  が表示されます(数字は、未読のメッセージ数を表しています)。GLO4P 設定ツールを利用すると、メッセージを確認することができます。

・ メッセージは最大 250 件まで保存できます(メッセージサイズにより 250 件未満で受信箱がいっぱいになることがあります)。

※ 2012 年 11 月現在、イー・モバイルからのメッセージの配信は行っておりません。

1. 本製品とパソコンを無線 LAN または USB ケーブルで接続し、GLO4P 設定ツールを起動します。
2. GLO4P 設定ツールのトップページで「受信箱へ」をクリックします。
メッセージ受信箱が表示されます。

4 各種機能を設定する

● 受信したメッセージを確認する場合

1. メッセージ受信箱で確認するメッセージ（受信日時／送信者／内容欄のいずれか）をクリックします。



● メッセージを削除する場合

1. メッセージ受信箱で削除するメッセージにチェックマークを付けます。
2. 「削除」ボタンをクリックします。

● 受信箱の表示を更新する場合

1. メッセージ受信箱で「更新」ボタンをクリックします。
表示が更新されます。

microSD カードの情報を確認する

本製品に取り付けた microSD カードに保存されているファイルを、無線 LAN または USB ケーブルで接続したパソコン上の GLO4P 設定ツールで確認することができます。

注意

- この機能を利用するには、「microSD 設定」の「共有モード」を「HTTP NAS モード」に設定しておく必要があります。
- 21 ページ「動作環境（対応 OS）」に記載されている環境以外では、正常に機能／動作しない場合があります。

1. 本製品とパソコンを無線 LAN または USB ケーブルで接続し、GLO4P 設定ツールを起動します。
2. GLO4P 設定ツールのトップページで「microSD フォルダを表示します」をクリックします。
3. 確認するフォルダをクリックし、ファイルをクリックします。



4. 「ファイルを開く」をクリックします。
- microSD カードのファイルを削除する場合
 1. 削除するファイルにチェックマークを付けます。
 2. 「選択したファイルを削除」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。
 - microSD カードのファイルをパソコンに保存する場合
 1. 保存するファイルをクリックします。
 2. 「保存」をクリックします。
 - パソコンのファイルを microSD カードに保存する場合
 1. 「アップロード」ボタンをクリックします。
 2. 「参照」ボタンをクリックし、保存するファイルを選択して、「開く」をクリックします。
 3. 「アップロード」ボタンをクリックします。
 4. アップロード成功の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

4 各種機能を設定する

モバイル機器用設定ツールについて

iPod touch などのモバイル機器から設定ツールにアクセスすると、モバイル機器用の設定ツール画面が表示されます。

モバイル機器用設定ツールでは、パソコン用設定ツールのかんたん設定（65 ページ）と同様の設定が可能です。また、受信したメッセージを確認したり、microSD カードの情報を確認したりすることも可能です。

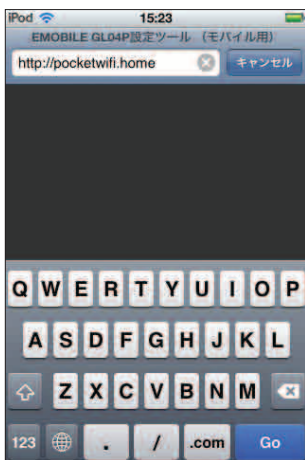
注意

- すべてのモバイル機器での動作を保証するものではありません。
- 本製品の詳細な動作設定については、62 ページ「GL04P 設定ツールについて」を参照してください。
- パソコン用設定ツールと比較して、一部機能が省略されています。

モバイル機器用設定ツールを起動する

画面表示や手順は、GL04P 設定ツールに対応する Web ブラウザを搭載した iPod touch を例にして説明しています。

1. iPod touch を起動し、本製品と無線 LAN で接続します。
2. Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「<http://pocketwifi.home>」と入力します。



注意

パソコン用設定ツール画面（63 ページ）左下の「モバイル用画面へ」を選択しても起動します。

3. ログイン画面が表示されます。パスワードを入力して、「ログイン」をタッチします。
- お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、「admin」に設定されています。
 - ユーザ名は「admin」で固定されています。ユーザ名の変更はできません。
 - 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

モバイル機器用 GLO4P 設定ツールログイン画面






- 1 状態表示アイコン（左から、無線 LAN 状態表示、暗号化方式表示、EM chip アイコン、WAN アイコン／Wi-Fi (WAN) アイコン、SIG アイコン）

- ：無線 LAN が無効
- ：無線 LAN が有効（丸内の数字は接続台数）
- ：WPA/WPA2
- ：WPA2
- ：WPA
- ：WEP
- ：暗号化なし
- ：有効な EM chip が取り付けられています。
- ：EM chip が取り付けられていません。または EM chip が無効になっています。
- ：LTE ネットワークでインターネット接続中（インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示）
- ：3G ネットワークでインターネット接続中（インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示）
- ⇄ ：3G / LTE ネットワークで受信レベル「強」⇄「弱」
- ：3G / LTE ネットワークで圏外
- ：Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「弱」
- ：Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「強」

4 各種機能を設定する

② メッセージボックス 受信箱へ

受信したメッセージを表示します（123 ページ）。

- ・ ：未読のメッセージがある場合
- ・ ：すべて既読の場合
- ・ ：メッセージがいっぱい、これ以上受信できない場合

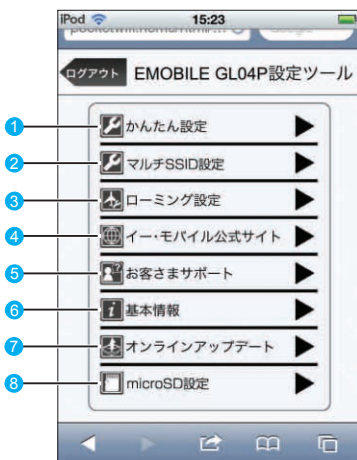
③ microSD

microSD カードの情報を表示します。

④ PC 用画面へ

PC 用の GLO4P 設定ツール画面を表示します。

モバイル機器用 GLO4P 設定ツールトップページ



① かんたん設定

かんたん設定画面を表示します。主な設定項目は、パソコン用設定ツールと同様です。詳しくは、65 ページ「かんたん設定」を参照してください。

② マルチ SSID 設定

マルチ SSID 機能 (SSID2) の有効/無効を設定します。

③ ローミング設定

海外でのデータ通信を設定します（119 ページ）。

④ イー・モバイル公式サイト

⑤ お客さまサポート

イー・モバイルのホームページを表示します。

⑥ 基本情報

現在の本製品の通信設定を表示します。

⑦ オンラインアップデート

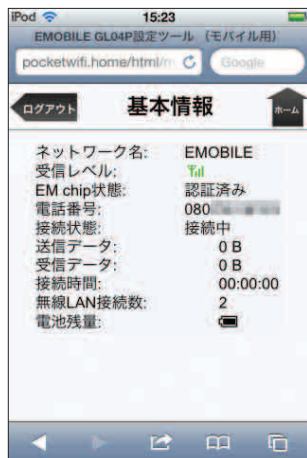
無線 LAN 接続した無線 LAN 対応端末から、本製品のアップデートを行います(120 ページ)。





⑧ microSD 設定

microSD カードに関する設定を行います。

基本情報を確認する

- モバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページで「基本情報」をタッチします。



設定項目	説明
ネットワーク名	現在接続中のネットワーク名を表示します。
受信レベル	 ⇄  : 受信レベル「強」⇄「弱」
EM chip 状態	EM chip (エムチップ) の認証状態を表示します。
電話番号	EM chip (エムチップ) に登録されている電話番号を表示します。
接続状態	インターネットへの接続状況を表示します。
送信データ	累計の送信データ量を表示します。
受信データ	累計の受信データ量を表示します。
接続時間	接続時間を表示します。
無線 LAN 接続数	本製品へ無線接続している機器の台数を表示します。
電池残量	本製品の電池残量を表示します。  ⇒  : 電池残量「多い」⇒「少ない」

注意

表示される受信データ／送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なる場合があります。

4 各種機能を設定する

画面左上の「ログアウト」をタッチすると、設定ツールからログアウトします。
右上の「ホーム」をタッチすると、設定ツールのトップページに戻ります。



かんたん設定を使用する

かんたん設定では、本製品をご利用する上で必要な主要な設定項目を 1～4 のステップで簡単に行うことができます。

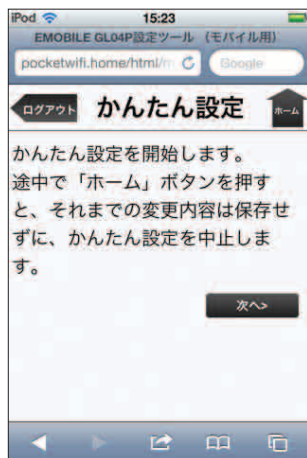
かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。

注意

- 変更内容は、最後に「完了」ボタンを押した後に保存されます。途中でログアウトまたはホームに戻ると、それまでの変更内容は保存せずに、かんたん設定を中止します。
- かんたん設定では、主要な設定項目のみの設定を行います。その他詳細な項目の設定は、パソコン用設定ツール（62 ページ）を使用してください。

1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「かんたん設定」をタッチします。

2. 「次へ」 ボタンをタッチします。



3. ステップ 1 が表示されます。ステップ 1 では接続先 APN を設定します。プロフィールリストからプロフィールを選択して、「次へ」をタッチします。プロフィールについては、76 ページ「接続モード設定」および77 ページ「プロフィール設定」を参照してください。

111



設定項目	説明	初期値
APN	APN を設定します。	em.std

4 各種機能を設定する

4. ステップ2が表示されます。ステップ2では無線LANの設定をします。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。
無線LANの各種設定については、81 ページ「無線LAN設定」もあわせて参照してください。

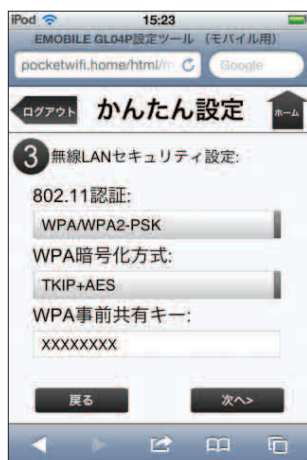


設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	SSID1のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「.」、「-」、「_」、「(半角スペース)」	※1
SSIDステルス※2	SSID1のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※1：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

※2：「有効」に設定すると、WPS機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

5. ステップ3が表示されます。ステップ3では無線LANのセキュリティ設定をします。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。無線LANのセキュリティ設定については、81ページ「無線LAN設定」もあわせて参照してください。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
802.11 認証	認証方式を選択します。	Auto (Open/Shared) Open System、 Shared Key、WPA- PSK、WPA2-PSK、 WPA/WPA2-PSK	WPA/ WPA2-PSK
WPA 暗号化方式※ ¹	暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、 TKIP+AES	TKIP+AES
WPA 事前共有キー※ ¹	使用する WPA 事前共有キーを指定します。	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, * ; < > & \ ¥ は除く)、または 64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F)	※ 3
暗号化方式※ ²	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP

4 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WEP キー 1 ※2	「暗号化方式」で「WEP」を選択した場合に、WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く） または 10 桁の 16 進数（0～9、A～F） 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く） または 26 桁の 16 進数（0～9、A～F）	WEP キー ※3

※ 1：「802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。

※ 2：「802.11 認証」で「Auto (Open/Shared)」「Open System」または「Shared Key」を選択しているときに表示されます。

※ 3：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

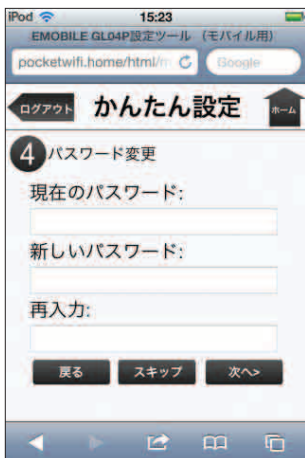
6. ステップ 4 が表示されます。ステップ 4 では設定ツールにログインする際のログインパスワードの設定をします。

現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力します。

パスワードは、最大 15 文字までの半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く）で設定します。

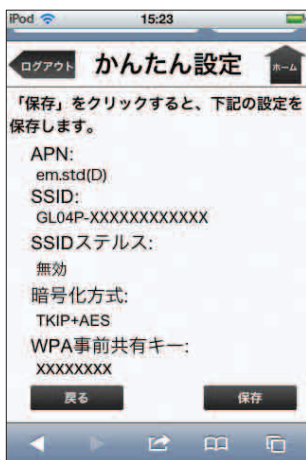
設定を変更しない場合は「スキップ」ボタンをタッチします。

新しくパスワードを変更した場合は「次へ」ボタンをタッチします。



7. ここまで行った設定内容を表示します。

設定内容を確認したら、「保存」をタッチして設定内容を保存します。



注意

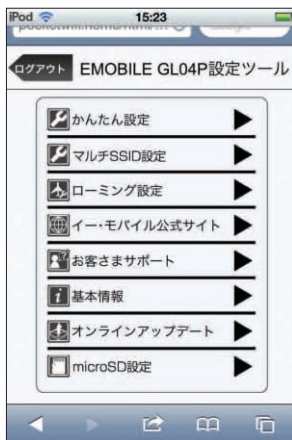
- 設定を変更後に引き続きモバイル機器用設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されることがあります。

4 各種機能を設定する

マルチ SSID 設定をする

マルチ SSID 機能 (SSID2) の有効/無効を設定します。

1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「マルチ SSID 設定」をタッチします。



2. マルチ SSID で「有効」を選択したら、「次へ」をタッチします。「無効」を選択したときは「保存」をタッチします。マルチ SSID 設定は終了します。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
マルチ SSID	SSID2 を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	無効

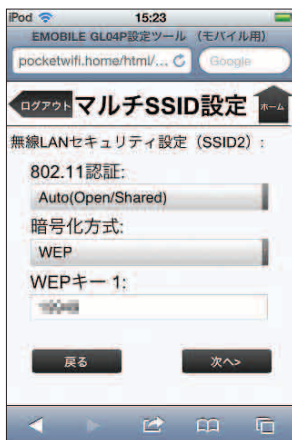
3. 無線 LAN 基本設定 (SSID2) を設定したら、「次へ」をタッチします。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2	SSID2 のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半英数字、「-」、「_」、「 」、「(半角スペース)」	※
SSID ステルス	SSID2 のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※お買い上げ時の「SSID2」は、無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の末尾に「-W」を追加したものです。

4. 無線 LAN セキュリティ設定 (SSID2) を設定したら、「次へ」をタッチします。

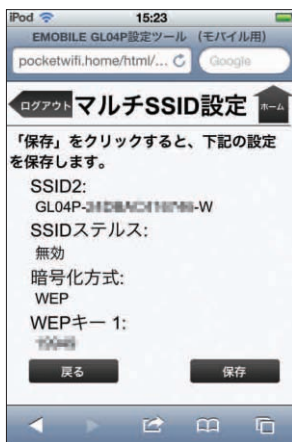


4 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。「Auto(Open/Shared)」を選択すると WEP 認証方式として Open System または Shared Key を自動的に選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	WEP *	WEP
WEP キー 1	使用する WEP キーを設定します。	64bit キー：5 文字の半角英数字と半角記号（.、:、<、>、&、\、¥は除く）または 10 桁の 16 進数（0～9、A～F） 128bit キー：13 文字の半角英数字と半角記号（.、:、<、>、&、\、¥は除く）または 26 桁の 16 進数（0～9、A～F）	WEP キー

※ SSID2 の暗号化方式は WEP のみになります。

5. 設定内容を確認し、「保存」をタッチして保存します。



注意

- これらの設定を変更すると、既に接続設定済みの無線 LAN 端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更してください。
- マルチ SSID 機能を有効にするには、「ネットワーク選択設定」で「3G/LTE のみ」に設定されている必要があります。詳しくは、71 ページ「ネットワーク選択設定」を参照してください。
- マルチ SSID 機能が有効の場合、無線 LAN 端末の最大接続数は 9 台（SSID1 に 5 台、SSID2 に 4 台）となります。

ローミング設定をする

海外で本製品を使ったデータ通信を利用する場合は、ローミング設定を有効に設定します。



1. モバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページで「ローミング設定」をタッチします。
2. 「有効」をタッチし、「適用」ボタンをタッチします。
 - 国際ローミング有効のメッセージが表示されたら「OK」をタッチします。国際ローミング設定画面に戻ります。
 - ローミング設定を無効にした場合も、同様の動作となります。なお、無効にした場合はデータ通信は利用できません。

注意

- 国際ローミング設定を有効に設定しても、電源を切ると無効に戻ります。海外で利用する場合は、電源を入れるたびに国際ローミング設定を有効に設定してください。
- 海外でデータ通信をご利用される場合、大容量データの送受信により、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- 対象の国・地域において、対象事業者のネットワークを利用したデータ通信では「海外データ 1 日定額」が適用されます。詳しくは、イー・モバイルのホームページをご覧ください。対象事業者のネットワークを確実に利用するには、「ネットワーク検索設定」(75 ページ)を参照のうえ、手動で設定してください (パソコン用設定ツールでの操作が必要です)。

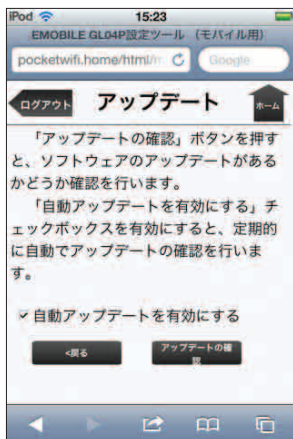
4 各種機能を設定する

オンラインアップデートを使用する

モバイル機器で、最新のソフトウェアをダウンロードし、アップデートできます。

注意 オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。

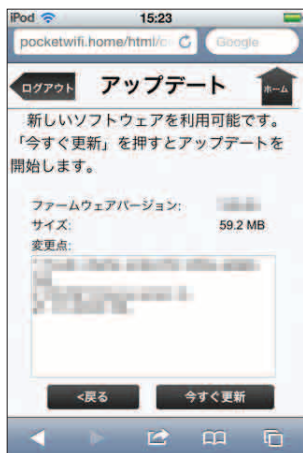
1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「オンラインアップデート」をタッチします。
2. 「アップデートの確認」ボタンをタッチします。



ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。

- ・ インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をタッチします。

3. 新しいバージョンの情報が表示されたら、「今すぐ更新」ボタンをタッチします。



- 本製品のソフトウェアが最新の場合は、最新版である旨のメッセージが表示されます。「戻る」をタッチし、そのままお使いください。

4. 「開始」ボタンをタッチします。
5. 「使用許諾契約」の内容を確認し、同意する場合は「同意」ボタンをタッチします。
- インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をタッチします。
6. アップデートが完了したら、「再起動」ボタンをタッチします。
- 再起動すると、アップデートされたソフトウェアが反映されます。

● 更新ソフトウェアの自動確認を設定する場合

ソフトウェアのチェックを定期的に自動で行うかどうかを設定します。

お買い上げ時は「自動アップデートを有効にする」にチェックが入っていますので、ソフトウェアのチェックを自動で行います。

最新のソフトウェアが見つかった場合、本製品のディスプレイ上に通知されます。詳しくは、25 ページ「アニメーション/テキスト表示について」を参照してください。

注意

国際ローミング中は、本設定に関わらず、ソフトウェアの自動チェックは行いません。

4 各種機能を設定する

microSD 設定をする

microSD カードに保存されているファイルの共有モードを指定します。

「HTTP NAS モード」に設定すると、microSD カードに保存されているファイルを、モバイル機器用設定ツール上で確認することができます。また、本製品に接続しているすべての機器から、microSD カードに保存されている内容を確認することができます。

1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「microSD 設定」をタッチします。




2. 項目を設定します。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
共有モード	共有モードを指定します。	HTTP NAS モード、 USB マスストレージ モード	USB マス ストレージモ ード

3. 設定が完了したら「保存」ボタンをタッチします。

受信したメッセージを確認する

イー・モバイルからのお知らせなどのメッセージを受信すると、本製品のディスプレイに  が表示されます（数字は、未読のメッセージ数を表しています）。モバイル機器用設定ツールを利用すると、メッセージを確認することができます。

・メッセージは最大 250 件まで保存できます（メッセージサイズにより 250 件未満で受信箱がいっぱいになることがあります）。

※ 2012 年 11 月現在、イー・モバイルからのメッセージの配信は行っておりません。

1. モバイル機器用設定ツールのログイン画面で （または ）をタッチします。



メッセージ受信箱が表示されます。

4 各種機能を設定する

● 受信したメッセージを確認する場合

1. 確認するメッセージをタッチします。



● メッセージを削除する場合

1. 削除するメッセージをタッチしてチェックマークを付けます。
2. 「削除」ボタンをタッチします。

● メッセージ受信箱の表示を更新する場合

1. 「更新」ボタンをタッチします。
最新の情報が表示されます。

microSD カードの情報を確認する

本製品に取り付けた microSD カードに保存されているファイルを、無線 LAN 接続した端末のモバイル機器用 GL04P 設定ツールで確認することができます。

注意

- この機能を利用するには、「microSD 設定」の「共有モード」を「HTTP NAS モード」に設定しておく必要があります。
- お使いの環境によっては、一部の機能をご利用いただけない場合があります。

